

## 供用時における焼却施設の稼働に伴う施設からの悪臭の漏洩による影響

表 計画施設と現有施設との比較

項目	計画施設	現有施設 (佐久クリーンセンター)
処理能力	110 t/日 (55 t/日×2 炉)	120 t/日 (60 t/日×2 炉)
処理方式等	処理方式：ストーカ式	処理方式：流動床式
建物構造・ 建築面積等	構 造：SRC 造、S 造 煙 突：高さ 45m 建築面積：約 2,800m <sup>2</sup> 敷地面積：約 17,000m <sup>2</sup> 開始年月：平成 31 年度（予定）	構 造：SRC 造、S 造 煙 突：高さ 45m 建築面積：1,617m <sup>2</sup> 敷地面積：8,614m <sup>2</sup> 開始年月：昭和 59 年 4 月
悪臭防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみピット内の空気を燃焼用空気として吸引し、ごみピット内を常に負圧に保ち悪臭の漏洩を防止するとともに、吸引した空気は炉内に送風して燃焼させ、高温で分解することで無害・無臭化する。</li> <li>・必要に応じて、ごみピット及びプラットホームに消臭剤を噴霧する。</li> <li>・ごみピットには投入扉を設け、ごみ投入時以外は閉じておく。</li> <li>・建築設備の密閉化、エアタイト扉、エアカーテン等の設置により悪臭の漏洩を防止する。</li> <li>・ごみピットの悪臭が休炉時においても外部に漏洩しないよう活性炭を使用した脱臭装置を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみピット内の空気を燃焼用空気として吸引し、ごみピット内を常に負圧に保ち悪臭の漏洩を防止するとともに、吸引した空気は炉内に送風して燃焼させ、高温で分解することで無害・無臭化する。</li> <li>・必要に応じて、ごみピット及びプラットホームに消臭剤を噴霧する。</li> <li>・ごみピットには投入扉を設け、ごみ投入時以外は閉じておく。</li> </ul>